

# 放射線リスクコミュニケーション 相談員支援センターに関する最近の取組

環境省

# 放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター

環境省  
相談員や自治体職員の皆様へ

## 住民の方からの相談対応で、 お困りのことはありませんか？



相談対応への様々なアドバイスや  
専門家の現地派遣等のサポートを行います。  
いつでもスタッフが訪問しますのでご相談はお気軽に！

※支援対象者：放射線相談員や市町村の職員、相談的な活動を行う者  
(生活支援相談員や保健師、栄養士、食品等の検査員、復興支援員、官民合同チームの訪問員、  
その他放射線不安について相談を受ける可能性がある者)

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター  
0120-478-100 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

環境省  
委託事業

●電話番号：0246-35-5150 ●ファックス：0246-35-5158 ●メール：F-sodan@nsra.or.jp  
●ホームページ：http://www.env.go.jp/chemi/rhm/shiencenter/  
●住所：〒970-8026 福島県いわき市平字小太郎町 2-6 いわきフコク生命ビル 5F

## 相談員支援センターとは

原発事故によって避難指示が出された12市町村を中心に、住民からの放射線不安等の様々な生活上の問題に対応する相談員や、自治体職員等の方々に対して、相談対応へのアドバイスや専門家の現地派遣、研修会の開催等の支援を無料で行っています。

●以下のような様々なサポートがあります

### 相談対応支援



住民からの放射線に関する様々な相談に対して電話・メール・訪問等を通して科学的・技術的な視点からアドバイスを行います。

### 専門家の派遣



放射線測定や住民への説明会、自治体主催の会議等に専門家の派遣を行います。

### 研修会の開催



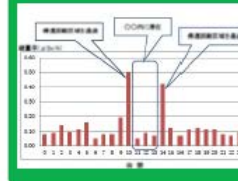
放射線の基礎・測定器の使用法・住民からの質問の答え方等、必要な知識・技術の習得をめざした研修会を開催しています。

### 相談員等の実働支援



各種放射線量の測定やデータの整理等をサポートします。

### 広報資料の作成支援



自治体が発行する広報資料の作成支援(放射線不安対応等)を行います。

ご希望に応じてサポートをします



●サポートまでの流れ

① ご相談

電話・メール・訪問時にお問い合わせ

② 打合せ

必要なサポートメニューのご提案

③ サポート

内容に応じたサポートを実施

ご相談をいただいた後、サポートまでに必要な手続き、準備等は支援センターで行います。

# 放射線に係るリスクコミュニケーションに関する最近の取組

- 住民を身近で支える相談員の方が抱える現状の課題等の共有や関係省庁・県・市町村の連携の円滑化を図るため、「相談員等実務者会合」を開催  
(平成29年8月24日、内閣府支援チームとの共催)

【主な意見交換の内容】

- ① **放射線に関する説明**: 国の長期目標である1mSvの説明や、放射線による遺伝不安について教育現場での伝え方の工夫が必要。
- ② **相談体制**: 生活面での悩みの奥に放射線の話しがあり、相談対応が困難に。社会福祉協議会や他課との連携した対応が必要。
- ③ **放射線測定体制**: 測定員と住民の間でのコミュニケーションは重要であり、引き続き、食品測定的环境は確保すべき。



現場の相談員等の連携を進め、成功事例や失敗事例の共有を図るためのワークショップの設置の提案



- 放射線相談員や生活支援相談員等の相談対応にあたる者の連携強化、効果的な事例の横展開を図るため、「相談員合同ワークショップ」を開催  
(平成29年12月27日、内閣府支援チームとの共催)



放射線相談員や生活支援相談員等が以下の4つのテーマについて、経験を共有するとともに、今後の対応について議論を実施。

- ①放射線に関する情報の共有、②相談員の充実、  
③相談員間、他部署との連携、④放射線測定体制